

カザフスタン概況

ジェトロ海外調査部欧州ロシア CIS 課(2018年8月2日更新)

● 一 般 的 事 項 ●

国名: カザフスタン共和国 (Republic of Kazakhstan)
 面積: 272 万 4,900 平方キロメートル(日本の 7 倍)
 人口: 1,816 万人(2018年1月1日現在)
 首都: アスタナ(人口 103 万人)
 公用語: カザフ語(国語)、ロシア語(公用語)
 宗教: イスラム教(70%)、キリスト教(26%)など

● 基 礎 的 経 済 指 標 ●

名目 GDP: 51 兆 9,668 億テンゲ(1,594 億ドル、2017 年)
 1人当たり名目 GDP: 8,838 ドル(2017 年)
 輸出: 483 億 4,210 万ドル(2017 年)
 主要輸出相手国(構成比):
 イタリア(17.9%)、中国(12.0%)、オランダ(9.8%)、ロシア(9.3%)
 スイス(6.4%)、フランス(5.9%)
 輸入: 293 億 470 万ドル(2017 年)
 主要輸入相手国(構成比):
 ロシア(39.2%)、中国(16.0%)、ドイツ(5.1%)、米国(4.3%)、イタリア(3.2%)
 外貨準備高: 307 億 2,100 万ドル(2018年5月18日)
 対外債務残高: 1,666 億 4,530 万ドル(2018年4月1日)
 外国直接投資残高: 1,470 億 6,400 万ドル(2017年12月末)
 通貨単位: テンゲ
 為替レート: 1ドル=326.00 テンゲ(2017年平均)

● 政 治 体 制 ●

政体: 共和制
 元首: ナルスルタン ナザルバエフ(Mr. Nursultan NAZARBAYEV)大統領
 (2015年4月再選、任期5年)
 議会概要: 二院制(上院47名 任期6年、下院マジリス107名 任期5年)
 主要政党: 人民民主党「ヌル・オタン」(与党)、民主党「アク・ジョル」、共産人民党(野党)
 内閣(主要閣僚): 2018年6月30日現在
 首相 バクイトゥジャン・サギンタエフ (Bakytzhan SAGINTAEV)
 第一副首相 アスカル・マミン (Askar MAMIN)
 副首相兼農業相 ウミルザク・シュケエフ(Umirzak SHUKEYEV)
 副首相 エルボラト・ドッサエフ(Erbolat DOSSAEV)
 副首相 アスカル・ジュマガリエフ(Askar ZHUMAGALIEV)
 外相 カイラト・アブドゥラフマノフ(Kairat ABDRAKHMANOV)
 防衛相 サケン・ジャスザコフ(Saken ZHASUZAKOV)
 内相 カルムハンベト・カシムモフ(Kalmukhanbet KASSYMOV)
 法相 マラト・ベケタエフ(Marat BEKETAYEV)
 財務相 バヒト・スルタノフ(Bakhyt SULTANOV)
 投資発展相 ゼニス・カシムベック(Zhenis KASSYMBEK)
 保健相 ヤルザン・ビルタノフ(Yelzhan BIRTANOV)
 労働・社会保障相 マディナ・アビルカシモバ(Madina ABYLKASSYMOVA)
 エネルギー相 カナト・ボズムバエフ(Kanat BOZUMBAYEV)
 国民経済相 ティムル・スレイメノフ (Timur SULEIMENOV)
 情報通信相 ダウレン・アバエフ (Dauren ABAYEV)

● 政 治 動 向 ●

(1) 1991年12月、ソ連から独立。
 (2) ソ連カザフスタン共和国時代にトップの座にあったナザルバエフ第一書記が90年4月に大統領就任。強力なリーダーシップを発揮して現在まで大統領を務める(2015年4月にも再選)。石油・天然ガス等の資源輸出による収益を背景に、政情は安定。2016年3月に行われた下院議員選挙でも107議席中、大統領の支持政党「ヌル・オタン」が84議席を獲得。国内に強力な反対勢力は無く、大統領の三選禁止も初代大統領は適用外と憲法で規定され、政権の長期化が見込まれる。
 (3) 対外的にはロシアとの関係が強く、独立国家共同体(CIS)、ユーラシア経済連合(EU)、集団安全保障条約機構(CSTO)など、ロシアを中心とする国際協力機構に積極的に参加。他方、上海協力機構(SCO)には創設時の01年から参加するなど中国との関係も重視。特に貿易面で中国の存在感が近年急速に増している。ナザルバエフ大統領が提唱する「光明の道」(運輸・物流インフラへの大規模投資を核とした国内運輸ネットワークの整備)、と中国の「一帯一路構想」の方向性が同じことから、カザフスタンはこの構想を積極的に支持している。

● 経 済 動 向 ●

(1) カザフスタンは石油、天然ガスなどのエネルギー・鉱物資源に恵まれた資源大国。レアメタルを含む非鉄金属も多種豊富で、ウラン、クロム、亜鉛等を産出。
 (2) ソ連からの独立後、民営化を中心に経済改革を推進し、外資を受け入れた。その結果、独立後減少が続いていた原油生産が95年によく増加に転じ、96年には独立後初めて経済がプラス成長を記録した。
 (3) 1998年には国際原油価格の低迷とロシアの金融危機の影響により再び実質経済成長率がマイナスとなった。しかし、2000年～2007年までは石油価格の上昇を追い風に毎年10%前後(2001年は13.5%)の成長を遂げた。
 (4) 2008年以降は金融危機による世界的な景気の減退とともに経済成長は鈍化。ただし、マイナス成長に陥ることはなかった。2016年のGDP成長率は2000年に入ってから一番低い1.1%だったが、2016年秋のカシャガン油田の商業輸出開始により2017年の実質GDPは4.0%増。IMFは2018年の成長率を3.2%と予測。
 (5) 目標は産業多角化: 近年の石油価格低迷のもとでは石油産業への過度な依存は経済が先細りするリスクがある。政府は、2050年までに世界でトップ30の先進国に入ることを目標に掲げ、経済の近代化・国際競争力強化に取り組んでいる。その中で、非石油部門の強化・拡大を重要課題のひとつに位置付けている。
 (6) 2014年2月、カザフスタン国立銀行は同国の生産者、輸出業者等の競争力向上を目的として通貨テンゲの約20%切り下げを実施。2015年8月20日にはテンゲの管理変動相場制を撤廃して変動相場制を導入した。

主要経済指標(前年比伸び率、%)					
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP	6.0	4.2	1.2	1.1	4.0
固定資本投資	6.9	4.2	3.7	2.0	5.5
輸出(10億ドル)	84.7	79.5	46.0	36.7	48.3
輸入(10億ドル)	48.8	41.3	30.6	25.4	29.3
財政収支対GDP比	△1.9	△2.7	△2.2	△1.6	△2.8
經常収支(10億ドル)	1.3	6.1	△5.1	△8.9	△5.4
失業率	5.2	5.0	5.1	5.0	4.9
消費者物価上昇率	4.8	7.4	13.6	8.5	7.1
農業生産	7.7	1.0	3.4	5.4	2.9
鉱工業生産	2.5	0.3	△1.6	△1.1	7.1

出所: 国民経済省国家統計委員会、經常収支のみ国立銀行。

● 日 本 と の 経 済 関 係 ●

貿易額(100万ドル、日本財務省「貿易統計」をドル換算)

	日本の輸出	日本の輸入	収支
2013年	704	645	60
2014年	674	750	△76
2015年	241	807	△567
2016年	192	576	△384
2017年	274	1,257	△984

主要貿易品目(2017年、構成比)

日本の輸出: 乗用車(57.8%)、建設用・鉱山用機械(11.3%)、ゴム製品(7.0%)
 日本の輸入: 鉄鋼(51.0%)、原油及び粗油(43.5%)

主要条約・協定: 租税条約発効(2009年12月)、原子力協定発効(2011年5月)、投資協定発効(2015年10月)

現地日系企業数: 51社(2017年10月1日現在)

在留邦人数: 163人(2017年10月1日現在)

主要日系企業投資事例(過去の事例も含む)

- ・国際石油開発帝石: 北カスピ海沖合油田開発(98年8月)
- ・三井物産: コマツ製建設・鉱山機械のディーラー事業(2006年)
- ・住友商事: カザトムプロムとのレアアースの回収事業(2012年11月)
- ・マキタ: 電動工具等の販売とアフターサービス(2014年10月)
- ・東京製綱: 防災製品(金網製品等)の製造(2016年5月)

日本の政府開発援助(ODA)実績(2016年度までの累計)

円借款(交換公文ベース)	951億4,900万円
実施案件事例: CAREC 物流回廊(ジャンブル州)整備計画等	
無償資金協力(交換公文ベース)	63億円
実施案件事例: 国境連絡事務所設置(薬物・犯罪対策)、病院医療機器整備等	
技術協力(経費実績ベース)	143億8,000万円
実施案件事例: カザフスタン日本人材開発センタープロジェクト等	

要人往来

(往)

- 2006年8月 小泉首相
- 2011年5月 鳩山元首相
- 2012年5月 枝野経済産業大臣
- 2014年8月 茂木経済産業大臣
- 2015年10月 安倍首相
- 2017年7月 衆議院カザフスタン訪問議員団(河村友好議員連盟会長他)
- 2017年7月 世耕経済産業大臣(来)
- 2008年6月 ナザルバエフ大統領、タジン外相、シコリク産業貿易相
- 2012年11月 イドリソフ外相
- 2013年2月 イセケシェフ副首相兼産業新技術相
- 2013年4月 マミ上院議長
- 2016年10月 ナザルバエフ大統領、イドリソフ外相、ボズムバエフエネルギー相
- 2018年5月 アバエフ情報通信相